

令和7年8月4日

美里町議会
議長 鈴木 宏通 殿

教育民生常任委員会
委員長 柳 田 政 喜

教育、民生常任委員会委員派遣報告書

本常任委員会は、所管事務調査を終了したので美里町議会委員会規則第22条の規定により下記のとおり報告する。

記

1. 調査年月日 令和7年7月23日（水）～7月24日（木）
2. 調査視察地 （1）千葉県多古町
 （2）千葉県柏市
3. 調査事項 子育て環境の充実について
4. 参加委員 柳田政喜、赤坂芳則、平吹俊雄、藤田洋一
 前原吉宏、村松秀雄、鈴木宏通
5. 随員職員 須田真喜子

所管事務調査研修報告

1. 目的

全国的に少子化の問題は深刻となっており、核家族化の進行、就労環境の変化、地域のつながりの希薄化など子どもと家庭を取り巻く環境が大きく変化してきている。このような状況下において、子育てに負担や不安、孤立感を感じる保護者の増加や児童虐待の深刻化、多様化する保育ニーズへの対応など、様々な課題があります。

国においては、「異次元の子育て支援」と銘打ち、様々な支援を計画しているが進行が遅く、各地方自治体が競うように限り有る財源を使い「18歳までの子ども医療費無償化」や「給食費の無料化」などに取り組んでいる状況に在ります。

本町におきましては、子ども医療費助成事業により18歳までの医療費の無償化や、民間保育事業者の協力による待機児童ゼロの達成、子ども家庭センター設置による相談窓口の充実など積極的に取り組んでいる状況に在りますが、都道府県の手厚い支援や、ふるさと納税などの自主財源の多い自治体などに比べると、見劣りしている状況に在ります。

以上の事を鑑み、本町の時流に合った子育て環境を充実すべきと考えテーマとした。

2. 研修事項

- (1) 母子手帳を補完するアプリについて、必要性、経費について。
- (2) 今後増える保育所空き保育室を病後児保育などに活用出来るかについて。
- (3) 天候に左右されない遊戯スペースの確保について。
- (4) その他子育て事業について

3. 研修内容

(1) 多古町

日時 7月23日(水) 14時～15時30分

概要 (R7.4.1現在) 人口13,272人 世帯数6,058世帯

担当課 健康福祉課、子育て支援課

1) 学校給食助成金制度

町立学校に在籍する児童生徒の保護者及び町外の特別支援学校の小学部・中学部に児童生徒が在籍する保護者に学校給食助成金を交付することによって経済的負担を軽減している。

他の給付を受けた金額を除く給食費全額を支給。区域外就学の児童生徒の保護者は個別理由であるため対象外としている。

2) 高校生等医療費助成制度

千葉県で高校生まで自己負担分医療費（限定有り）の助成を行っているが、大学生などの22歳までの学生（予備校も含む）を対象に自己負担額を補助している。

学生自身の所得が130万円以下、ジェネリック利用、健康保険適用医療費に限るなど細部まで精査し支給している。

3) 第3子以降出産・入学祝金事業

多古の子・町の子・みんなの子「多古 de 子育て」と銘打ち、3人目以降の子どもが生まれた保護者に対し、総額100万円の祝い金を支給している。

出産時30万円、小学校入学時20万円、中学校入学時20万円、高校入学前に30万円の総額100万円としているが、最初の出産時の対象となった場合のみ継続して対象となる。また、20万円の一部は商品券として支給しているが、商品券の発行時期、発行先との調整に苦慮している。

4) 多古病児保育所事業

国保多古中央病院に併設している多古病児保育所では風邪や病気回復期などでこども園や小学校に行けない子どもの保育を行っている。

事前登録、事前受診、予約の上で、町内在住5時間まで1,000円、一日2,000円、町内在勤は1.5倍の料金で8時半から18時まで保育している。

5) 多古町奨学資金貸付制度（免除制度）

多古町奨学資金貸付制度を利用し、貸し付けを受けた者の返済を免除する。

多古町に在住で就業しており、町税に未納が無ければ、免除となる。免除期間中に町外へ転出した場合は、それ以降の免除が失効する。

6) 国保多古中央病院医学生奨学金等貸付制度

国保多古中央病院医に将来医師として従事しようとする学生に対し、就学に必要な資金の貸し付けを行い、医師の確保に努めている。

奨学金は月額20万円以内で四半期ごと、就学一時金は就学に必要な経費1,000万円以内を交付し、大学課程修了後6年以内に貸付期間の1.5倍に相当する期間、常勤医師として従事した場合、奨学金全額、就学一時金の半額を免除し、10年以内の償還としている。

7) たこまち子育て応援ナビ事業

子育て応援アプリを導入し、きめ細かな情報の提供を行っている。

妊婦・出産に関する各種支援情報から子育てに関するQ&A、子育ての記録など44項目あり、現在135人の利用登録がある。利用料は年額26万4千円に変更などの維持管理料込みである。

8) たこまち子育て応援サイト「多古 de 子育て」の運営

基本担当課が運営管理している。

感想

成田空港周辺対策交付金などを活用し独自に多彩な子育て事業を展開し成果を上げている。企画政策課長も同席していただいたが、予算内での新規事業に積極的であり、職員の子育て支援意識も高い、また、パンフレットなどの見せ方も上手く、住民バスなどにも掲示するなどし、町民全体で共通意識を持ち「子育てのしやすい町」「みんなで子どもを育てる町」を実現している。

(2) 柏市

日時 7月24日(木) 9時30分～11時30分

概要 (R7.4.1現在) 人口 436,545人
世帯数 201,923世帯

担当課 こども部こども政策課・保育運営課
教育委員会生涯学習部生涯学習課

1) 子ども・子育て支援複合施設「t e t o t e」てとて

元々は駅前の総合デパートで分館(5階建て)を改修し設置。柏市すべての子どもと子育てを応援する施設として6年度より各階随時運営開始している。

【1階】

○遊びの広場

未就学から小学3年生まで遊具やおもちゃで遊びながら過ごすスペース。

○はぐはぐポケット中央(乳幼児一時預かり)(委託事業)

生後6か月から未就学の子どもを理由は問わず、9時から17時の間1時間500円で一時預かり保育を行っている。

【2階】

○妊娠子育て相談窓口

妊娠子育ての相談、妊娠届時の面接、母子健康手帳の交付を行っている。

○駅前すこやかプチルーム

子どもの身体測定や育児相談、母子保健・健康・子育て支援等の情報発信。

【3階】

○柏駅前送迎保育ステーション

駅前にある保育ステーションから市内にある3つの民営認定こども園へ送迎を行っており、保護者の送り迎えも駅前で可能にしている。委託事業として各園に一室割り振られており各園独自の内装が施され、7時から9時・16時から19時の預かり保育も各園の保育士がステーションで行っている。

【4階】

○本の広場

本は人気タイトルをそろえており、来館すれば読めるよう貸し出しはしていない。未就学エリア・アクティブエリア・クラフトエリア・ゴロ寝エリ

アに分けてあり、未就学から中学生を対象とした子どもたちが本を読んだり自由に過ごせる居場所。

未就学は保護者同伴、小学校3年生まで保護者が付き添うことができる。

【5階】

○中高生の広場

学校を越えた仲間づくり、放課後や休日に自分らしく自由に過ごすことができるサードプレイス。カフェスペースもあり、相談員を兼ねた職員がスティック飲料を一人一杯提供している。(Wi-Fi もあり)

感想

先進的子育て施設に終始感心させられた。利用している子ども・保護者が十分満足しているのが感じ取れ、現時点での子育て支援施設の完成形に近いものだと感じた。

4. まとめ

すべての子どもは平等のサービスを受ける権利があるが、保護者の事情、自治体の対応により環境に大きな差がついている状況に在る。

目的に記載した通り全国的に少子化・核家族化が進んでおり、ひとり親家庭、共働き家庭の子育て支援の必要性が高まっている状況に在る。

子育て事業先進地では首長を先頭に職員が積極的に子育て支援に努め成果をあげていると強く感じた視察であった。

本町においては近隣町村に比べ、十分な子育て支援を行っているが、病児・病後児保育や屋内全天候型の施設、また、子どもの居場所に関する施設が無い。

財政に恵まれている自治体と同じ対応は出来ないが、町が一体となり国、県また、民間の力を借り子育て支援新事業を実施していくべきである。

以上報告いたします。